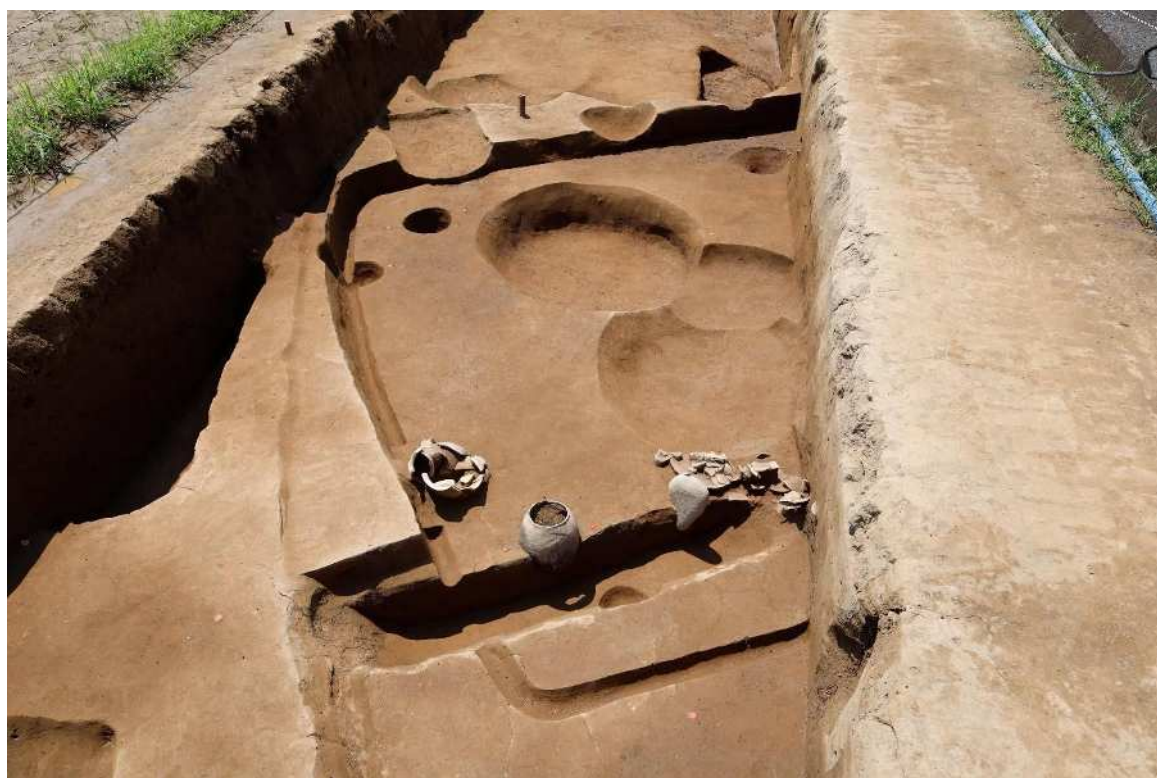


令和6年度 年報



2025

岐阜県文化財保護センター

目 次

1 センターの概要	1
2 事業実績	2
3 発掘作業	3
4 整理等作業	5
5 発掘調査報告書	6
6 試掘・確認調査	7
7 普及活用事業	7
8 研究・支援事業	9
9 普及活用事業の記録	9

1 センターの概要

名称

岐阜県文化財保護センター

設置場所

岐阜県文化財保護センター
同 飛騨駐在事務所
同 飛騨国府事務所

岐阜市三田洞東 1-26-1
高山市丹生川町坊方 2109
高山市国府町名張字峠 1425-1

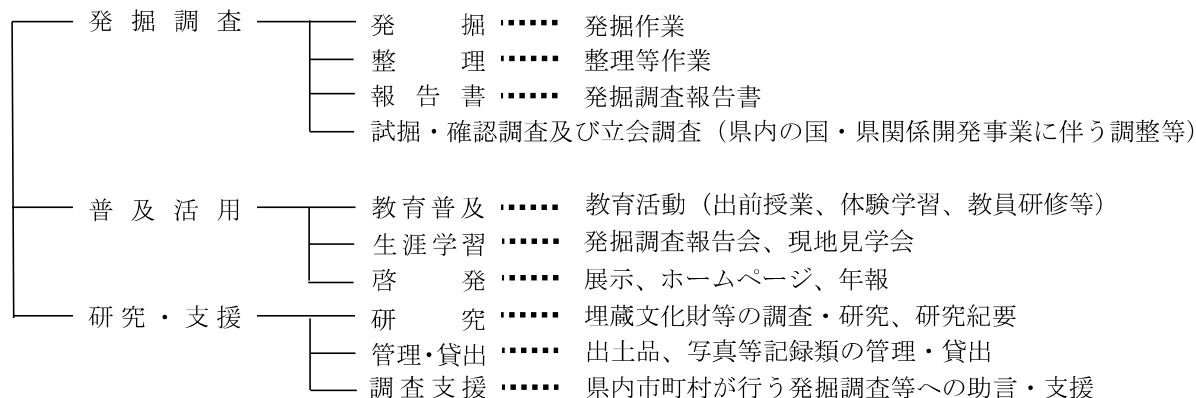
設置根拠

岐阜県立学校以外の教育機関の設置に関する条例（昭和36年条例第4号）

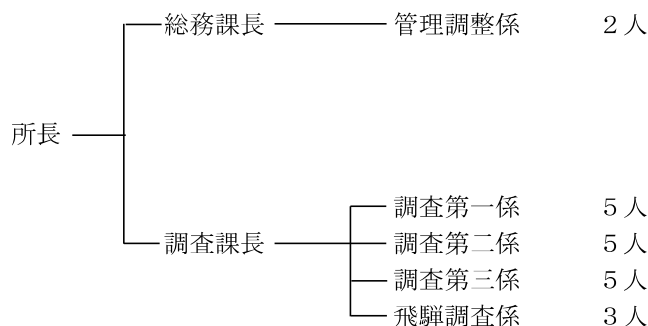
所掌事務

- (1) 埋蔵文化財の発掘調査及び研究に関すること
- (2) 埋蔵文化財に係る開発事業の調整に関すること
- (3) 発掘調査技術の指導及び研修に関すること
- (4) 出土品の保存処理及び収蔵に関すること
- (5) 埋蔵文化財に関する資料の収集、保存及び刊行に関すること
- (6) 文化財の保護思想の普及に関すること
- (7) 前各号に定めるもののほか、岐阜県文化財保護センターの事業に関すること

事業体系図



組織図



2 事業実績

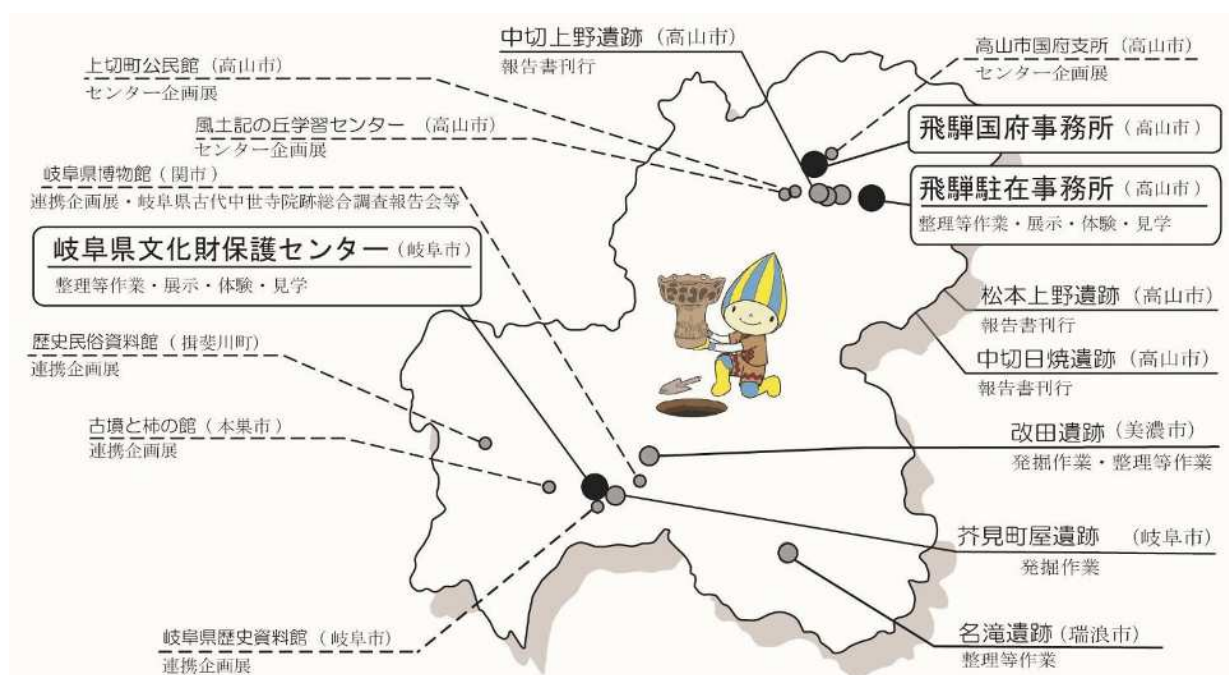
これまでの成果

発掘調査	調査遺跡数 199 遺跡（古墳群・古窯跡群は1遺跡として計上） 調査面積 745,242.6 m ² 発掘調査報告書 168 集、他1集
発掘調査報告会	平成5年度から毎年開催 （令和6年度は岐阜県古代・中世寺院跡総合調査報告会として実施）
タイムスリップ探検隊	平成4年度から毎年開催（令和元・3年度は中止）
発掘速報展	平成8年度から26年度まで開催（平成22年度から岐阜県博物館と共催）

【これまでの主な発掘調査事業】

調査原因	調査年度	主な遺跡
徳山ダム	H3～18	戸入村平遺跡（揖斐川町）、塚奥山遺跡（揖斐川町）
東海北陸自動車道	H3～9	西ヶ洞遺跡（郡上市）、勝更白山神社周辺遺跡（郡上市）
東海環状自動車道	H4～現在	柿田遺跡（可児市・御嵩町）、佐口遺跡（美濃加茂市）、 重竹遺跡（関市）、荒尾南遺跡（大垣市）、北方京水遺跡（大垣市）、 上保本郷遺跡（本巣市）、洞第2古墳群（岐阜市）
中部縦貫自動車道	H13～R6	上岩野遺跡（高山市）、赤保木遺跡（高山市）、野内遺跡（高山市）、 上切寺尾古墳群（高山市）、中切上野遺跡（高山市）
丹生川ダム	H5～8	西田遺跡（高山市）、カクシクレ遺跡（高山市）
県工業団地造成 ・VRテクノジャパン ・ソフトピア ・関テクノハイランド	H5～8 H5～7 H8～11	船山北遺跡（各務原市）、船山北古墳群（各務原市） 今宿遺跡（大垣市） 砂行遺跡（関市）、深橋前遺跡（関市）、南青柳遺跡（関市）

令和6年度事業概要



3 発掘作業

あくた み まち や 芥見町屋遺跡

所在地	岐阜市祇園地内
立地	自然堤防
事業名	令和6年度国道156号岐阜東B P建設事業
事業者名	国土交通省中部地方整備局岐阜国道事務所
調査期間	令和6年5月～令和6年12月
調査面積	4,728.4 m ²
種別	散布地、集落跡、生産遺跡、その他の遺跡（道路・交通関係遺跡）
時代	縄文時代、弥生時代、古墳時代、古代、中世、近世
主な遺構	竪穴建物、掘立柱建物、土器焼成遺構、道路状遺構
主な遺物	弥生土器、土師器、須恵器、灰釉陶器、山茶碗、中世陶器、輸入陶磁器、石器など

調査概要

芥見町屋遺跡は長良川の左岸、標高 30m前後の自然堤防上に立地する遺跡で、その推定範囲は南北約 750m、東西は最大約 400mにも及ぶ。国道 156 岐阜東 B P 建設事業に伴う発掘調査は、令和 3 年度から継続して実施しており、これまでに縄文時代晩期の土器棺墓、弥生時代後期から古墳時代前期の竪穴建物、古代の竪穴建物や溝、自然流路、土器焼成遺構、中世の掘立柱建物や土坑、井戸、近世の道路状遺構などを検出し、各時代における遺跡の様相が徐々に明らかになりつつある。出土した遺物は、土器や石器、金属製品など、今回の調査で出土したものを含め、その総数は 50 万点以上を数える。

今年度の調査で検出した遺構は、大きく見て弥生時代後期から古墳時代初め頃、古代（飛鳥時代から平安時代）、中世（平安時代末期から室町時代）、近世（江戸時代）の 4 期に分けることができる。特に弥生時代後期から古墳時代初め頃の竪穴建物が高い密度で検出され、その総数は 100 軒近くを数える。この時期の建物は今回の発掘区北端付近では見られなくなることから、当時の集落の北限に相当すると考えられる。

古代の遺構ではカマドを伴う竪穴建物 15 軒の他、9 基の土器焼成遺構が注目される。この土器焼成遺構では、土師器の甕や鍋などを焼成していた。



竪穴建物群（弥生時代末～古墳時代初め）



壺形土器（パレス壺）が投棄された土坑



カマドを備える古代の竪穴建物

中世の遺構では掘立柱建物3軒のほか多数の土坑がある。土坑の多くは墓坑と推定され、中世に入るとこの地は主に墓域として利用されたと考えられる。

近世の遺構では、これまでの調査でも確認していた近世の郡上街道に関連するもので、南北に走る路盤や道路側溝、路面補修坑などを検出した。



土器焼成遺構と不良品を投棄した物原

あくた み まち や 芥見町屋遺跡

所在地	岐阜市祇園地内
立地	自然堤防
事業名	令和6年度公共道路メンテナンス事業 (主) 川島三輪線藍川橋工区
事業者名	岐阜県岐阜土木事務所
調査期間	令和6年5月～令和6年12月
調査面積	2,440.2 m ²
種別	散布地、集落跡、生産遺跡
時代	古代、中世
主な遺構	竪穴建物、掘立柱建物、溝、土器焼成遺構、井戸など
主な遺物	弥生土器、土師器、須恵器、山茶碗、陶磁器など

調査概要

当遺跡は、長良川左岸の自然堤防上に立地する。これまでに行われた調査では、弥生時代後期から古墳時代初め及び奈良時代から平安時代の竪穴建物や中世の土坑、井戸、近世の道路状遺構などが検出されている。

今年度の調査では、発掘区がA地点・B地点・C地点の3箇所に分かれ、A地点では中世の掘立柱建物9棟、屋敷地を区画する溝、井戸などを、B地点とC地点では古代の竪穴建物2棟や土器焼成遺構、溝などを確認し、地点によって主体となる時代が異なる状況が判明した。出土遺物は、A地点では中世の土師器皿が非常に多く、他に山茶碗や陶磁器類、金属製品などが出土した。B地点・C地点では古代の土師器や須恵器が多いが、「美濃国」刻印須恵器や土馬など特徴的な遺物が出土した。



芥見町屋遺跡A地点 発掘区全景



芥見町屋遺跡C地点 土器焼成遺構

かいでん

改田遺跡

所在地 美濃市極楽寺地内
立地 河岸段丘
事業名 令和6年度県単道路新設改良（一般分）
(主)岐阜美濃線 道路新設改良工事
事業者名 岐阜県美濃土木事務所
調査期間 令和6年5月～令和6年7月
調査面積 384.5 m²
種別 散布地、集落跡、その他の遺跡（道路・交通関係遺跡）
時代 古代～近世
主な遺構 道路、溝、土坑
主な遺物 縄文土器、土師器、須恵器、灰釉陶器、
中近世陶磁器、金属製品、石製品など

調査概要

当遺跡は、長良川右岸の河岸段丘上に立地する古代から近世の遺跡である。これまでに実施した発掘調査では、中世から近世の掘立柱建物、柱穴、溝、旧河道、土坑を確認し、主に中世から近世の遺物が出土した。

今年度は384.5 m²の本発掘調査を実施し、古代の道路1条や方形土坑群を確認した。道路は南北方向に延び、路面上からは須恵器の横瓶・盤・高台付鉢が出土した。また、中世の溝7条を確認した。溝からは中世の土師器、陶磁器が出土した。



遺跡の位置 国土地理院発行1:25,000地形図「美濃」に一部加筆



発掘区全景



道路 路面検出状況

4 整理等作業

かいでん 改田遺跡 所在地 美濃市極楽寺地内 事業名〔事業者名〕 令和6年度県単道路新設改良（一般分） (主)岐阜美濃線 道路新設改良工事 〔岐阜県美濃土木事務所〕 整理面積/調査面積 384.5 m²/384.5 m² 発掘調査期間 令和6年5月～令和6年7月	改田遺跡は、古代から近世にかけての遺跡である。令和6年度に本発掘調査を実施し、古代の道路、方形土坑群、中世の溝、土坑などを確認した。今年度は出土遺物の接合作業、補強作業、実測作業、実測図トレース作業、遺構や出土遺物の挿図・写真図版作成作業、報告書原稿執筆作業などを実施した。 整理等作業の結果、古代の道路及び方形土坑群は7世紀後半に比定できることが判明し、古代の地割と中世の地割では、方向が異なることを確認した。また、中世の溝の方向は、過去の調査で確認した掘立柱建物等と同一方向であることが判明した。
主な遺構 ○古代 道路、方形土坑群 ○中世 溝、土坑 ○近世 溝、土坑	主な遺物 ○縄文土器、土師器、須恵器、灰釉陶器、中近世陶磁器、金属製品、石製品など

なたき 名滝遺跡 所在地 瑞浪市土岐町 事業名[事業者名] 令和6年度国道19号瑞浪恵那道路事業 〔国土交通省中部地方整備局多治見砂防国道事務所〕 整理面積/調査面積 3624.2㎡/3624.2㎡ 発掘調査期間 令和元年9月～令和元年12月 令和2年5月～令和2年9月	名滝遺跡は、縄文・中世の時期と考えられてきた周知の遺跡である。令和元・2年度に本発掘調査を実施し、中世から近世までの掘立柱建物、柵、溝、井戸、土坑などを確認した。今年度は出土遺物の接合作業、補強・復元作業、実測作業、実測図トレース作業、遺構や出土遺物の挿図・写真図版作成作業、報告書原稿執筆作業などを実施した。 整理等作業の結果、中世から近世までの遺物のうち、14～15世紀と江戸時代後期の陶磁器数の比率が高いことが判明し、当該地におけるこの時期の活動が活発だったと考えられる。
主な遺構 ○中世～近世 掘立柱建物、柵、溝、井戸、土坑	主な遺物 ○縄文土器、土師器、須恵器、灰釉陶器、山茶碗、中近世陶磁器、石器、木製品、金属製品など



改田遺跡 遺物実測作業風景



改田遺跡 拓本作業風景



名滝遺跡 補強作業風景



名滝遺跡 窯道具集合写真

5 発掘調査報告書

報告書名	事業名[事業者名]	発行年月
岐阜県文化財保護センター調査報告書第169集 まつもとうわの 松本上野遺跡	令和6年度中部縦貫自動車道高山清見道路事業 〔国土交通省中部地方整備局高山国道事務所〕	令和7年3月
岐阜県文化財保護センター調査報告書第170集 なかざりひやけ 中切日焼遺跡	令和6年度中部縦貫自動車道高山清見道路事業 〔国土交通省中部地方整備局高山国道事務所〕	令和7年3月

6 試掘・確認調査

国・県関係の開発事業に伴い下記の6遺跡で試掘・確認調査を実施した。

芥見町屋遺跡（岐阜市）、大円坊遺跡（恵那市）、井尻遺跡（恵那市）、加野南遺跡（岐阜市）、諸垣内遺跡（恵那市）、中島遺跡（土岐市）

7 普及活用事業

1 教育普及

（1）出前授業

学校	内容	期日	参加人数
郡上市立相生小学校6年生	学校の体育館が縄文時代の遺跡の上にあることを知り、縄文時代や弥生時代の人々の暮らしに対する関心と知識を深める	5月17日(金)	1 クラス 24 人
各務原市立鶴沼第二小学校6年生	古墳時代の導入として、縄文のむらの暮らしの様子に関心をもつ	5月29日(水)	3 クラス 106 人
垂井町立宮代小学校6年生	縄文時代と弥生時代の違いを体験を通して学ぶ	5月31日(金)	1 クラス 29 人
恵那市立串原小学校6年生・中学校2年生	実物の遺物を見たり触ったりする中で歴史を身近に感じる	6月5日(水)	2 クラス 30 人
高山市立西小学校6年生	縄文土器と弥生土器を比較し土器の特徴やその変化について気づくことで、弥生時代の人々の生活と土器の様式の変化が関係していることを知り、歴史に興味・関心をもつ	6月5日(水)	1 クラス 29 人
垂井町立東小学校6年生	岐阜県から出土した縄文土器と弥生土器等に直接触れることで各時代の土器の特徴に気づき、当時の人々がどのように暮らし、どのように変化していったのかを話し合う	6月6日(木)	2 クラス 46 人
岐阜市立三輪南小学校6年生	古墳時代の生活や文化について資料などを通して深く理解する	6月7日(金)	3 クラス 98 人
白川町立白川小学校6年生	校区内の中ノ森遺跡の見学に関わらせ、講師からの話を聞くことで、縄文時代の人々の生活や当時使われていた土器や石器についての理解を深める	6月12日(水)	1 クラス 14 人
岐阜市立岩野田小学校6年生	縄文時代と弥生時代の違いを体験を通して学ぶ	6月14日(金)	2 クラス 59 人
高山市立丹生川小学校6年生	丹生川の歴史を知る	6月14日(金)	1 クラス 35 人
岐南町立西小学校6年生	遺跡から出土した4種類の土器を比べる活動を通して、時代の特徴を見つける	6月17日(月)	3 クラス 71 人
各務原市立那加第一小学校6年生	土器を観察・比較することで時代の特徴を考える	6月18日(火)	4 クラス 146 人
岐阜市立長森東小学校6年生	縄文土器や弥生土器の実物に触れて、その時代に確かに生きていた人々の思いを感じ、土器から暮らしの様子の違いを想像できることを実感する	6月19日(水)	3 クラス 76 人
高山市立東小学校6年生	縄文時代、弥生時代の暮らしを知る	6月19日(水)	2 クラス 68 人
関市立富野小学校6年生	実際に発掘された遺物を直に見たり触ったりすることで、当時の人々の生活を実感を持って学習する	6月21日(金)	1 クラス 17 人
岐阜県立海津明誠高校2年生	岐阜県から出土した資料を用いた講義を通じて、生徒の古代史の理解の一助とする	6月24日(月)	2 クラス 25 人
輪之内町立仁木小学校6年生	縄文・弥生土器や石器を通して、当時の人々の暮らしについて考える	6月25日(火)	1 クラス 31 人
掛斐郡養基小学校養基保育所組合立養基小学校6年生	弥生時代と縄文時代の違いを知る	6月26日(水)	2 クラス 37 人
高山市立江名子小学校6年生	講師からの話を聞き、実際の土器を見たり触れたりする活動を通して、歴史に対する理解を深める	6月26日(水)	1 クラス 36 人
北方町立南学園6年生	6年生社会（歴史編）の学びを深める	6月27日(木)	2 クラス 61 人
養老町立広幡小学校6年生	縄文土器と弥生土器の比較から土器製作技術の変遷がわかる	6月28日(金)	1 クラス 15 人
神戸町立下宮小学校6年生	1学期で学習した縄文時代から古墳時代までの復習と文化についてより深く学ぶため	7月3日(水)	1 クラス 22 人
大垣市立墨俣小学校6年生	縄文・弥生時代の土器を調べたり観察したりする活動を通して、歴史に対する興味・関心を深めるとともに、当時の人々の生活の様子を理解する	7月5日(金)	2 クラス 42 人
岐阜市立日野小学校6年生	社会で学習する時代の実物に触れる体験をしたり、専門的な話を聞いたりすることで、児童の歴史に対する理解と関心を高める	7月10日(水)	2 クラス 59 人
高山市立花里小学校6年生	縄文時代から古墳時代まで学んだ子どもたちに当時の遺物を見せ、触れ合うことで、当時の暮らしについて考えるきっかけとする	7月10日(水)	2 クラス 45 人
掛斐川町立清水小学校6年生	縄文時代の土器と弥生時代の土器を実際に見て触れることで、当時の人々の生活の様子を考える	7月12日(金)	1 クラス 16 人
掛斐川町立小島小学校6年生	縄文土器・弥生土器・須恵器を比較したり、古墳から出土した土器を観察したりすることを通して、時代の移り変わりや大きな力をもつ存在が現れたことに気づく	7月17日(水)	1 クラス 24 人
笠松町立松枝小学校6年生	子どもたちがより主体的に学ぶことができるように、遺物を見たり触ったりして歴史への興味関心を高める	7月19日(金)	3 クラス 89 人
高山市立清見小学校6年生	実際に土器に触ったり見たりすることで、社会の学習内容に対する興味や理解をより深める	9月4日(水)	1 クラス 12 人
美濃市立牧谷小学校6年生	講師からの話を聞いたり、遺物を実際に見たりすることを通して、奈良時代から平安時代・鎌倉時代の暮らしの様子を感じる	9月13日(金)	1 クラス 18 人
東海学院大学大1年生	岐阜県の埋蔵文化財から岐阜県の歴史、さらには日本の歴史を実感する	9月26日(木)	1 クラス 60 人
掛斐郡大野町立西小学校6年生	修学旅行で京都・奈良へ見学に行く前に、実際の遺物を観察して、時代の移り変わりと中央との関わりについて改めて授業で学習したことについての理解を深める	10月11日(金)	1 クラス 31 人
池田町立宮地小学校6年生	古墳時代の歴史や人々の生活に触れ、それを守り未来に伝えていこうとする気持ちを育てる	11月1日(金)	1 クラス 18 人
岐阜市立島中学校1年生	「講義」と「体験活動」を通して、子どもたちが自分の将来や生き方を見つめる	11月16日(土)	2 クラス 78 人

延べ34校58クラス1,567名(美濃地域28校、飛騨地域6校)

(2) 講師派遣

派遣先	内容	期日	参加人数
くるるセミナー	「遺跡に秘められた祖先の暮らし ～出土品に触れながら～」	10月9日(水)	15人

(3) 総合教育センター研修(埋蔵文化財活用講座)

対象	内容	期日	参加人数
小中高等学校及び特別支援学校の教員	遺跡から出土した実物の土器・石器、発掘調査の成果などを、授業で活かす具体的な方法を紹介するとともに、実際に土器や石器に触れる活動を通して、ふるさとの文化財から学ぶことのよさを体験し、ふるさと教育に関する指導力の向上を図る	10月25日(金)	13人

(4) タイムスリップ探検隊

対象	内容	期日	参加人数
県内在住の方	県内在住の方を対象に遺跡発掘調査の見学や発掘体験を通して、埋蔵文化財に対する理解を深めるとともに文化財保護思想の普及をはかる	10月20日(日)	29人

(5) 見学・体験の受け入れ

見学者	内容	期日	参加人数
高山市立丹生川中学校1年生	高山市丹生川町内の遺跡の説明、発掘された遺物の見学(総合的な学習)	5月16日(木)	40人
公益社団法人岐阜県シルバー人材センター連合会	芥見町屋遺跡発掘調査及びセンターの業務説明	11月20日(水)	17人
岐阜市歴史博物館	芥見町屋遺跡の概要説明及び発掘作業見学	11月26日(火)	12人

2 生涯学習

(1) 現地公開・見学会

遺跡名	内容	期日	参加人数
芥見町屋遺跡現地見学会(岐阜市)	発掘現場を公開し、遺跡の見学、遺跡概要の説明及び遺物の展示・紹介を行う	11月30日(土)	190人

(2) 岐阜県古代・中世寺院跡総合調査活用事業 (「清流の国ぎふ」文化祭2024実施事業及び関連事業) ・岐阜県古代・中世寺院跡総合調査報告会

内容	発表者(所属)	会場	期日	参加人数
調査報告: 願興寺廃寺跡(御嵩町)	梶原 義実氏(名古屋大学大学院教授)	岐阜県博物館(関市)	11月23日(土)	101人
岐阜県古代・中世寺院跡総合調査 総括	浅井 飛音(当センター職員)			
講演: 他地域との比較から見た岐阜県の古代寺院	菱田 哲郎氏(京都府立大学教授)			

・岐阜県博物館・文化財保護センター連携企画展

展示内容	会場	開催期間
「寺院からみた岐阜の歴史—古代・中世寺院跡総合調査の成果より—」 寺屋敷遺跡、高畑遺跡、横蔵寺旧境内、日焼遺跡の出土遺物、解説パネル展示	岐阜県博物館(関市)	11月9日(土)～1月13日(月)

・シリーズ講座「岐阜県内山中寺院跡について」

内容	発表者(所属)	会場	期日	参加人数
第1回 飛騨園城2寺・東濃園城3寺	近藤 正枝(当センター職員)	岐阜県博物館(関市)	12月7日(土)	59人
第2回 西濃園城5寺・中濃園城1寺	安江 太佑(当センター職員)		12月21日(土)	60人

3 啓発

(1) 展示

名称	展示内容	会場	開催期間
サテライト展示	歴史資料館連携企画展「陶片は語る～発掘出土品に見る古代・中世の文字と符号～」	歴史資料館(岐阜市)	4月22日(月)～6月19日(水)
	企画展(高山市上切町)「上切町の歴史 三枝城跡」	上切町公民館(高山市)	4月25日(木)～次年度
	博物館連携企画展(コーナー展示) 大平遺跡、毘沙門遺跡	岐阜県博物館(関市)	5月8日(月)～次年度
	企画展(高山市)「高山市上切町の歴史 随縁寺裏B地点遺跡」(高山市教育委員会共催)	高山市風土記の丘学習センター	7月19日(金)～8月25日(日)
	企画展(高山市国府町)「荒城川流域の縄文時代の遺跡」(高山市教育委員会共催)	高山市国府支所(高山市)	8月1日(木)～8月29日(木)
	本巣市連携企画展「上保本郷遺跡」	古墳と柿の館(本巣市)	9月21日(土)～11月17日(日)
	揖斐川町連携企画展「中村遺跡」	揖斐川歴史民俗資料館(揖斐川町)	5月25日(土)～6月30日(日)
本館展示	荒尾南遺跡、明徳遺跡、柿田遺跡、赤保木遺跡、洞雲戸遺跡、釜戸上平遺跡、堅田遺跡、上保本郷遺跡の出土遺物、解説パネル展示	岐阜県文化財保護センター(岐阜市)	年間を通して展示
飛騨駐在事務所展示	上ヶ平遺跡Ⅰの出土遺物・解説パネル展示	岐阜県文化財保護センター飛騨駐在事務所(高山市)	4月8日(土)～9月30日(月)

(2) ホームページ・SNS

内容	URL	更新
センター調査だよりや考古学コラム「きずな」等による発掘調査事業の情報提供、現地見学会などの各種イベントの案内及び報告、保管資料の活用や出前授業に関する情報をホームページに掲載するとともに、SNS（県公式LINEアカウント「岐阜県」）で配信	ホームページ https://www.pref.gifu.lg.jp/soshiki/21807/	随時

(3) 年報

内容	刊行
毎年度の発掘調査事業、普及活用事業及び研究・支援事業を年報として記録するとともに、関係機関へ配布し、ホームページに掲載	令和5年度の『年報24』は、令和6年3月29日に刊行及びホームページに掲載

8 研究・支援事業

(1) 出土品等の貸出

内容	実績
公共機関等からの要請に基づき、出土品や関係資料を貸し出すことにより、その活用を図る	出土品の貸出：16件 出土品の調査等：18件 写真資料等の貸出：16件

(2) 報告書・図書等の保管

蔵書数	受け入れ登録数
発掘調査報告書58,325冊、その他の図書18,088冊、野村文庫6,660冊	発掘調査報告書904冊・その他の図書347冊

(3) 市町村等への支援・助言

市町村（遺跡名）	内容	期日
本巣市（席田郡家推定地）	席田郡家推定地の整理等作業に関すること	7月30日（火）
愛知県名古屋（団原古墳）	団原古墳石室に関する助言	1月30日（木）
愛知県弥富市（花の木古墳群）	花の木古墳群出土鉄製品の整理・分析に関する助言	2月21日（金）

9 普及活用事業の記録



出前授業



総合教育センター研修



講師派遣



タイムスリップ探検隊



岐阜県古代・中世寺院跡総合調査活用事業



現地公開・見学会



サテライト展示（本巣市連携企画展）

令和 6 年度年報

岐阜県文化財保護センター年報 25

令和 7 年 3 月 31 日

編集・発行 岐阜県文化財保護センター

〒502-0003 岐阜市三田洞東 1-26-1

TEL 058-237-8550 FAX 058-237-8551

E-mail : c21807@pref.gifu.lg.jp

URL <http://www.pref.gifu.lg.jp/soshiki/21807>